

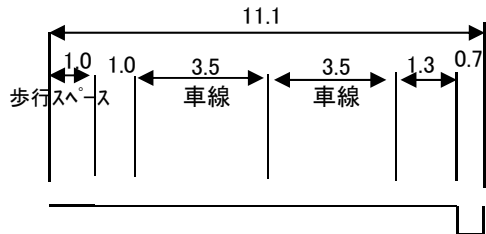
道路事業事前評価調書

路線・河川等名	主要地方道宇治淀線	事業名	防災・安全交付金事業	補助・単独の別	補助
事業主体	京 都 府	事業箇所（区間）	八幡市川口～京都市伏見区淀地内		
事業概要	目的	主要地方道宇治淀線は、宇治市宇治と京都市伏見区を結ぶ路線であり、国道24号、第二京阪道路、国道1号に連絡しており、京都府南部地域の交通を担う非常に重要な路線である。本事業箇所は多数の工場が立地する区間で、自動車及び自転車の通行量が多い区間である。しかし現状は歩道がなく、歩行者、自転車はガードレールで分離した歩行スペースか車道を通行しており安全な通行が確保されていない。このため、本事業により歩道の整備を行い、歩行者・自転車の安全を確保する。			
	内容	整備延長：L＝ 730m 現況幅員：W＝11.1m 2車線 歩道なし 計画幅員：W＝11.1m 2車線 歩道(両側：左2.1m、右1.0m) 事業費：約2.5億円			
	上位計画等	明日の京都（中期計画） 社会資本総合整備計画			
	スケジュール	着手年度：平成26年度 完成目標：平成29年度			
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢及び地元情勢等	<ul style="list-style-type: none"> ○自動車交通量 16,464台/日 ○自転車交通量 633台/日 ○歩行者交通量 290人/日 ○現況は片側にガードレールで分離された狭小な歩行スペースのみで、歩行者や自転車の安全で円滑な通行ができない状況となっている。 ○自転車歩行者の通行量が多く、早期の歩道整備が求められている。 			
事業の有効性	事業の効果及び費用対便益等	<ul style="list-style-type: none"> ○片側自歩道の確保により、歩行者及び自転車の安全性を向上させる。 ○バリアフリー構造の歩道とし、誰もが安心・安全で円滑に移動できる歩行空間を確保する。 			
事業の効率性等	コスト縮減代替案立案等の可能性及び良好な環境形成・保全	<ul style="list-style-type: none"> ○バリアフリー構造の自転車歩行者道として整備し、歩行者及び自転車の交通環境が改善される。 ○二次製品の使用を促進しコスト縮減を図る。 			
総合評価	本事業は、歩行者等の安全性の向上を図るために、新規着手の必要がある。				

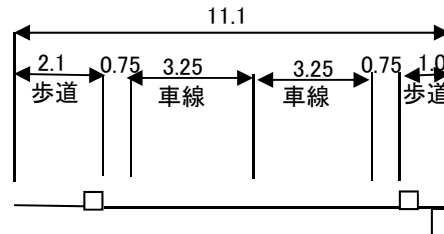
【位置図】



【現況横断図】(単位m)



【計画横断図】(単位m)

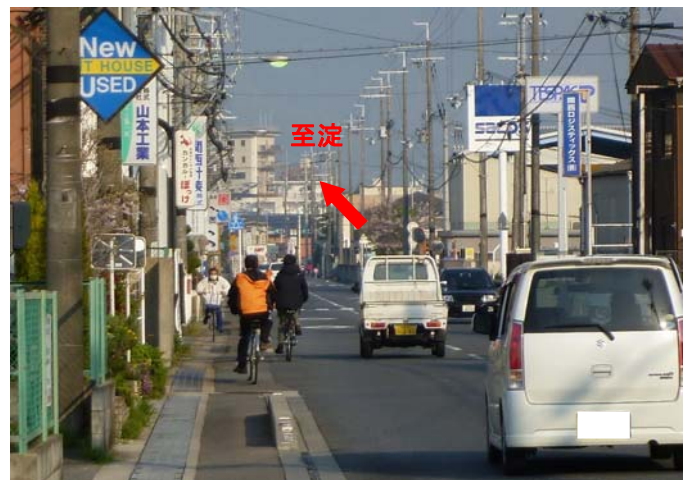


【現況写真】



写真①

(通学路となっているが、歩道がなく
児童の安全が確保できていない)



写真②

(自転車等の安全も確保できていない)